

◆ 平成26年度 全国学力・学習状況調査結果 《小学校・算数科》 ◆

■調査結果の概要

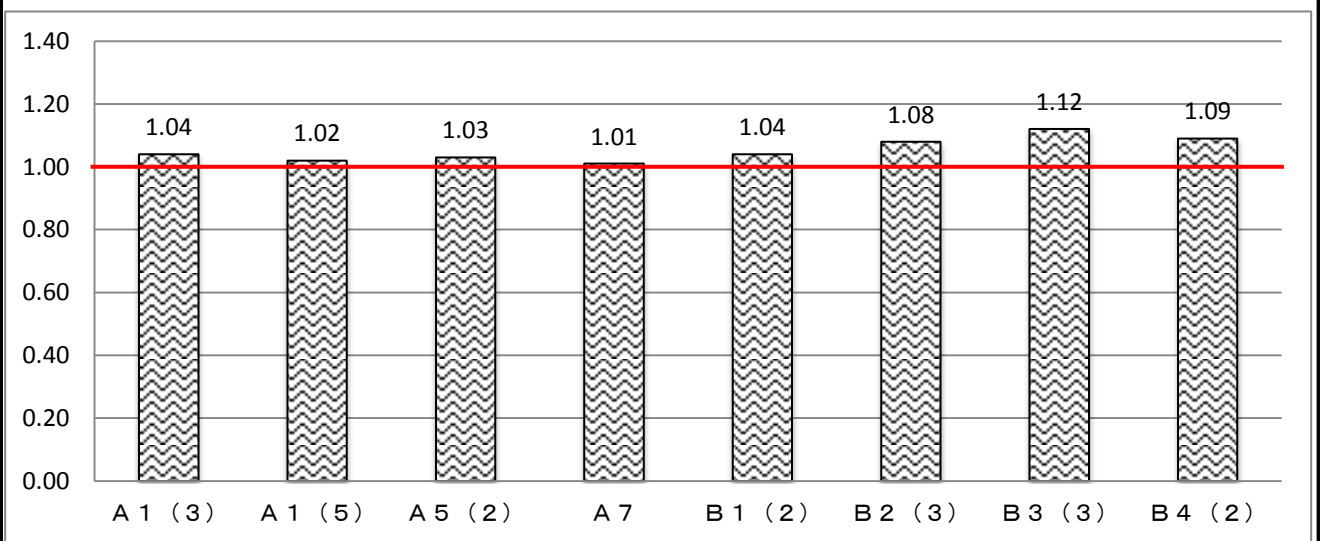
A問題(主として「知識」に関する問題)の結果																	
○全体	<ul style="list-style-type: none"> 全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、1.00で、全国平均正答率と同等。 (佐賀市78.1)(全国78.1) 																
○評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 「数量や図形などについての技能」については、全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、1.00で、全国平均正答率と同等。 (佐賀市87.9)(全国87.9) 「数量や図形などについての知識・理解」については、全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、1.00で、全国平均正答率と同等。 (佐賀市69.3)(全国69.5) 																
○内容・領域	<ul style="list-style-type: none"> 「数と計算」については、全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、1.01で、全国平均正答率を上回っている。 (佐賀市82.6)(全国81.8) 「量と測定」については、全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、1.00で、全国平均正答率と同等。 (佐賀市74.9)(全国74.8) 「図形」については、全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、0.97で、全国平均正答率を下回っている。 (佐賀市69.6)(全国71.8) 「数量関係」については、全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、1.00で、全国平均正答率と同等。 (佐賀市80.9)(全国81.3) 																
○グラフ	<table border="1"> <caption>グラフのデータ</caption> <thead> <tr> <th>内容・領域</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>算数A</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>技能(観点)</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>知識・理解(観点)</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>数と計算(領域)</td> <td>1.01</td> </tr> <tr> <td>量と測定(領域)</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>図形(領域)</td> <td>0.97</td> </tr> <tr> <td>数量関係(領域)</td> <td>1.00</td> </tr> </tbody> </table>	内容・領域	割合	算数A	1.00	技能(観点)	1.00	知識・理解(観点)	1.00	数と計算(領域)	1.01	量と測定(領域)	1.00	図形(領域)	0.97	数量関係(領域)	1.00
内容・領域	割合																
算数A	1.00																
技能(観点)	1.00																
知識・理解(観点)	1.00																
数と計算(領域)	1.01																
量と測定(領域)	1.00																
図形(領域)	0.97																
数量関係(領域)	1.00																

B問題(主として「活用」に関する問題)の結果																			
○全体	<ul style="list-style-type: none"> 全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、1.00で、全国平均正答率と同等。 (佐賀市58.3)(全国58.2) 																		
○評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 「数学的な考え方」については、全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、1.04で、全国平均正答率を上回っている。 (佐賀市49.9)(全国47.8) 「数量や図形などについての技能」については、全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、0.98で、全国平均正答率を下回っている。 (佐賀市74.6)(全国76.2) 「数量や図形などについての知識・理解」については、全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、0.97で、全国平均正答率を下回っている。 (佐賀市53.4)(全国54.8) 																		
○内容・領域	<ul style="list-style-type: none"> 「数と計算」については、全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、0.99で、全国平均正答率を下回っている。 (佐賀市80.5)(全国81.3) 「量と測定」については、全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、1.04で、全国平均正答率を上回っている。 (佐賀市58.6)(全国56.5) 「図形」については、全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、0.99で、全国平均正答率を下回っている。 (佐賀市64.9)(全国65.7) 「数量関係」については、全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、1.01で、全国平均正答率を上回っている。 (佐賀市56.6)(全国56.2) 																		
○グラフ	<table border="1"> <caption>グラフのデータ</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>算数B</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>考え方(観点)</td> <td>1.04</td> </tr> <tr> <td>技能(観点)</td> <td>0.98</td> </tr> <tr> <td>知識・理解(観点)</td> <td>0.97</td> </tr> <tr> <td>数と計算(領域)</td> <td>0.99</td> </tr> <tr> <td>量と測定(領域)</td> <td>1.04</td> </tr> <tr> <td>図形(領域)</td> <td>0.99</td> </tr> <tr> <td>数量関係(領域)</td> <td>1.01</td> </tr> </tbody> </table>	項目	割合	算数B	1.00	考え方(観点)	1.04	技能(観点)	0.98	知識・理解(観点)	0.97	数と計算(領域)	0.99	量と測定(領域)	1.04	図形(領域)	0.99	数量関係(領域)	1.01
項目	割合																		
算数B	1.00																		
考え方(観点)	1.04																		
技能(観点)	0.98																		
知識・理解(観点)	0.97																		
数と計算(領域)	0.99																		
量と測定(領域)	1.04																		
図形(領域)	0.99																		
数量関係(領域)	1.01																		

■調査結果の分析【成果(強み)】

問題番号	領域	観点	出題のねらい	分 析
A 1 (3)	A数と計算	技能	小数の減法の計算をすることができる。	位をそろえて計算することができる。
A 1 (5)	D数量関係	技能	減法と乗法の混合した整数の計算をすることができる。	四則の混合した式を理解し、正しい順番で計算することができる。
A 5 (2)	B量と測定	知識・理解	体積の単位と測定について理解している。	直方体の体積を求める公式の意味を理解することができる。
A 7	C図形	知識・理解	立体図形とその見取り図の辺や面のつながりや位置関係について理解している。	直方体について、見取り図から読み取った面の形や大きさについて理解することができる。
B 1 (2)	A数と計算 D数量関係	考え方	計算の決まりを基に、数値を変えた場合でも工夫して計算する方法を式や言葉を用いて説明することができる。	37×24 の積は、筆算で計算しなくても $37 \times 3 = 111$ をもとにすると888になることに気づき、結合法則を用いて説明することができる。
B 2 (3)	B量と測定 D数量関係	知識・理解	全体と部分の関係を示すために用いるグラフを選択することができる。	表す目的に応じて、適切なグラフを選択することができる。
B 3 (3)	B量と測定	考え方	示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を言葉と数を用いて説明することができる。	30人または40人に必要なスープの量と10人に分けた後または分ける前のスープの量の大小を判断し、その理由を説明することができる。
B 4 (2)	A数と計算	考え方	二人のリズムが重なる部分を、公倍数に着目して説明することができる。	日常生活の事象を算数の内容と関連付け、学習した用語を用いて的確に説明することができる。

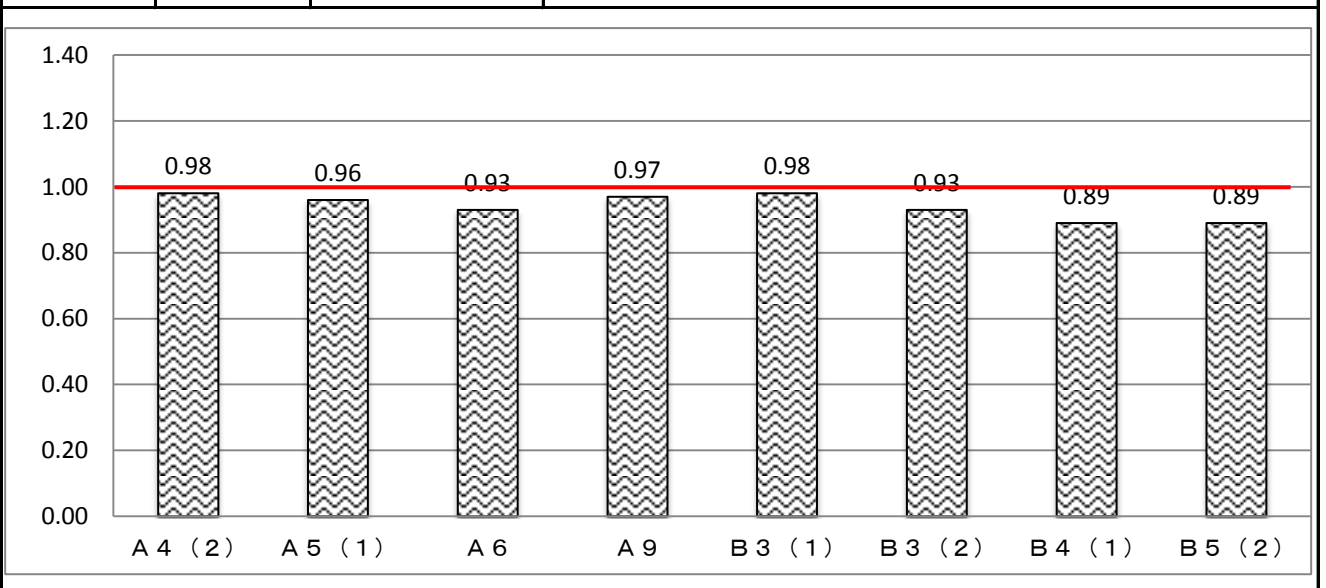
○グラフ



■調査結果の分析【課題(弱み)】

問題番号	領域	観点	出題のねらい	分 析
A 4 (2)	B量と測定	知識・理解	単位量あたりの大きさの求め方を理解している。	単位量にする量を明確にして、立式することに課題がある。問題場面に応じて、二つの量のうち、どちらを単位量にするかについて明らかにするために、二つの量を図に表し、単位量を判断させることが大切である。
A 5 (1)	C図形	技能	円周の長さを、直径の長さを用いて求めることができる。	円周を求める式と円の面積を求める式が混同していることが考えられる。直径、円周、円周率の関係を式に表す活動を取り入れ、(円周)=(直径)×(円周率)という式で求められることを理解させることが大切である。
A 6	C図形	知識・理解	平行四辺形の作図に用いられている図形の約束や性質を理解している。	平行四辺形の向かい合っている辺の長さは等しいという性質を用いてコンパスを使って作図する際に、二つの弧が交わる点が2辺の長さが等しい位置を探すために行っていることを理解させることが大切である。
A 9	C図形 D数量関係	技能	二つの数量の関係を□、△などの記号を用いて式に表すことができる。	二つの数量の關係に着目して、□、△などの記号を用いて式に表すことに課題がある。具体的な場面をもとにして、□、△などに置き換えて立式させ、□、△などが用いられる場面を理解できるようにすることが大切である。
B 3 (1)	B量と測定	考え方	示された情報を基に、条件に合う時間を求めることができる。	図から情報を読み取ったり、文章から昨年との変更点を読み取ったりすることに課題がある。日常生活の中で必要となる時刻や時間を求める機会を設けることが必要である。また、情報や条件を図の中に表し、整理することで、時間の増減について筋道を立てて考え、時間を求めることが大切である。
B 3 (2)	A数と計算	知識・理解	10人分の量を基に40人分の量を相対的に捉え、その関係を表している図を選択することができる。	相対的な数の見方を理解することに課題がある。生活場面の中で量や数を相対的に見ることを大切にする。数の相対的な大きさについて実感を伴って理解できるようにするために、ある数を単位として、他の数を図や数直線などを用いて表す活動を取り入れることが大切である。
B 4 (1)	A数と計算 D数量関係	技能	繰り返し出現する事象から規則性を読み取ることができる。	事象を観察して、そこから規則性を見いだすことに課題がある。日常生活での事象や他教科等での場面を取り上げ、その中にある数量の關係から規則性を見い出すことが大切である。
B 5 (2)	A数と計算	知識・理解	示された情報を解釈し、基準量の1.5倍の長さを表している図を選択することができる。	小数倍の意味を図と関連づけて理解することに課題がある。小数倍の意味の理解において、基準量、比較量、割合の関係を的確に捉えることが困難な場合が多いため、繰り返し図を用いて、具体的に小数倍の大きさを理解できるようにすることが大切である。

○グラフ



■調査結果の分析【指導改善について】

○ 考えてよかった、表現してよかったと感じる場を設定する。 ・算数的な活動を通して、算数のよさや美しさに気づかせ、味わわせるようにする。 ・表現する活動自体が楽しいと感じられるようにする。 ・学習して学んだことを活かして家庭でも取り組むことができるよう課題の与え方を工夫する。 ・授業のめあてを明確にし、学習を振り返る活動を計画的に取り入れ、子ども自身が伸びを感じられるようにする。
○ 相手を意識して表現する力を育てる。 ・式に表す、式をよむ、式を変形するなどの活動を大切にする。 ・図や式、言葉を関連づけていく活動を大切にする。
○ 数学的な見方、考え方を比較する学び合いの場を設定する。 ・複数の考え方、表現の仕方を比べて、よさを感じやすくする。 ・筋道を立てて考えたり、説明したりする活動を充実させる。 ・複数の考え方から共通性を見つけたり、発展的に考えたりする場を工夫する。
○ 生活時間の使い方と内容の改善 テレビやゲームのしすぎは、学力に影響している。たとえばテレビ視聴が1時間より少ない児童や全くゲームをしない児童の平均正答率が高い。また、携帯電話やスマートフォンをもっていない児童の正答率が高い。 ただ、テレビのニュースを見たり新聞を読んだりする習慣がある児童は平均正答率が高いことから適切な情報は児童の語彙力や情報収集力・判断力に大きく影響すると考える。テレビや読書の時間とともに何を見るのかの内容も見直しや助言が必要と考える。

■評価の観点については、以下のように表記しています。 ■内容・領域については、以下のように表記しています。

評価の観点	表記
数学的な考え方	考え方
数量や図形などについての技能	技能
数量や図形などについての知識・理解	知識・理解

内容・領域	表記
A数と計算	数と計算
B量と測定	量と測定
C図形	図形
D数量関係	数量関係